

# Βηθλέεμ

## ベツレーム

知っておきたいキリスト教のことば (183)

ベツレーム ベつれへむ

ベツレームという地名は、ダビデの出身地として旧約聖書に登場します。サムエル記上 17 章 12 節にこうあります。

「ダビデは、ユダのベツレーム出身のエフラタ人で、名をエッサイという人の息子であった。エッサイには八人の息子があった。」

また旧約聖書のミカ書 5 章 1 節には、救い主がベツレームで生まれるという預言が書かれています。

「エフラタのベツレームよ お前はユダの氏族の中でいと小さき者。お前の中から、わたしのために イスラエルを治める者が出る。彼の出生は古く、永遠の昔にさかのぼる。」

マタイによる福音書によると、イエス様の母マリアの婚約者ヨセフはダビデの子孫でした。またルカ福音書には、人口登録のためにヨセフはベツレームに行かなければならないと書かれています。そしてマリアとヨセフがベツレームの家畜小屋に泊まっていた時に、イエス様は誕生しました。

このベツレームという町はエルサレムの南 7~8km に位置し、海拔 775m の丘の上にあります。富士山の 5 合目付近と同じ高さだそうです。身重のマリアにとって、この旅は、大変過酷だったことでしょう。

330 年コンスタンティヌス帝によって、この地に降誕教会が建てられました。降誕教会は現存する最古の教会と言われ、そこには世界中から多くの巡教者が訪れます。特にクリスマスには、たくさんの観光客であふれるそうです。

ちなみにイエス様が誕生した時に東方の占星術の学者たちを導いた星を、「ベツレームの星」と呼ぶそうです。

次回は「ベネディクトゥス」です。お楽しみに。



「ベツレーム(1882年)」  
ヴァシーリー・ポレーノフ  
(1844~1927年)

ところが、彼らがベツレームにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

(ルカによる福音書 2 章 6~7 節)

